JR九州労組ニュース
No. 6
2022年
7月20日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者 芦原 秀己

「JR北労組苗工支部」に加入した若手組合員の勇気ある決断を激励

【苗工支部新規加入組合員（中央４名）と激励団】

JR 連合は、自由で民主的な労働組合と建設的な労使関係を築くべく「民主化闘争強化・連帯活動」に取り組んでおり、JR 九州労組も民主化支援支部である「JR 北海道労働組合苗穂工場支部（以下、JR 北労組苗工支部）との連帯活動を通じ、JR 北海道の「民主化闘争」を支援してきました。

昨年以降、JR 北労組 13 名の組織拡大（内、苗工支部4名）を果たす！！

今回、7 月 14 日に開催された「JR 北労組苗工支部新規加入者歓迎会」に激励団（本部：木村副委員長、阿多執行委員、小工支部：稲冨副委員長、熊本地本：宮国執行委員）を派遣し、中断していた連帯・支援行動を再開しました。歓迎会では、JR 連合鎗光局長より新たな仲間に対し JR 連合バッジが授与された後、JR 九州労組からも本部・小工支部・熊本地本で作成した檄と記念品を加入者に各々手渡し「JR 連合の旗の下、共に楽しく活動しよう」と激励。**５月に加入された組合員からは「新入社員研修期間中も、北鉄労（JR 総連）の強引で執拗な勧誘に疑問をもっていた。配属され、JR 北労組が民主的で、組合員に寄り添ってくれる唯一の組合であると確信した」と、JR 北労組加入を決断した思い**が述べられました。その後、これまでの JR 北労組苗工支部の JR 北海道における民主化闘争のご労苦を労うと共に、次回は九州において「貨物鉄産労九州」の民主化完遂に向けて連帯して取り組むよう要請しました。また、来賓として参加された JR 北労組地方議員団（林下小樽市議、菅原北海道議、藤原札幌市議）の方々と、今後の「地方公共交通ネットワーク」の維持と利便性の向上にむけ意見交換を行いました。

【挨拶する越後 JR 北労組苗工支部委員長】

車両関係職場における課題を共有

【JR 北労組苗工支部との組織対策会議の様子】

7月 15 日には「組織対策会議」を開催（JR 北労組本部）、車両関係職場における組織実態、業務課題について、其々の職場・機関から報告・意見交換を実施した ！

組織課題では、北鉄労（JR 総連）による安全衛生委員会委員の独占をはじめ、「他労組組合員とは話すな、食事するな！」といった独善的組織運営が今も見られる中、組合活動にも苦慮していると報告されました。業務関係では、業務移管が進む JR 九州における技術継承策や業務移管先を含む品質管理策など、同じ車両関係職場でも異なる職場環境や組織課題を共有し意見を交換する充実した機会となりました。最後に、木村副委員長より、激励団受け入れにあたっての感謝と、ＪＲ北海道における民主化闘争の完遂に向け、継続して JR 北労組苗工支部」と連帯して取り組む事を確認し、激励行動を終了しました。